

# 星屑

1997 4月号  
No. 265

199501 1997.03.05  
BT-11C Color CCD  
— KCAO —



199501 1997.03.05  
BT-11C 2\*2 B&W  
— KCAO —

熊本県民天文台

**COMET PAGE****Mar. 1997**

by Porco Nisse (KCAO)

このページは、1997年2月に観測した彗星の紹介です。

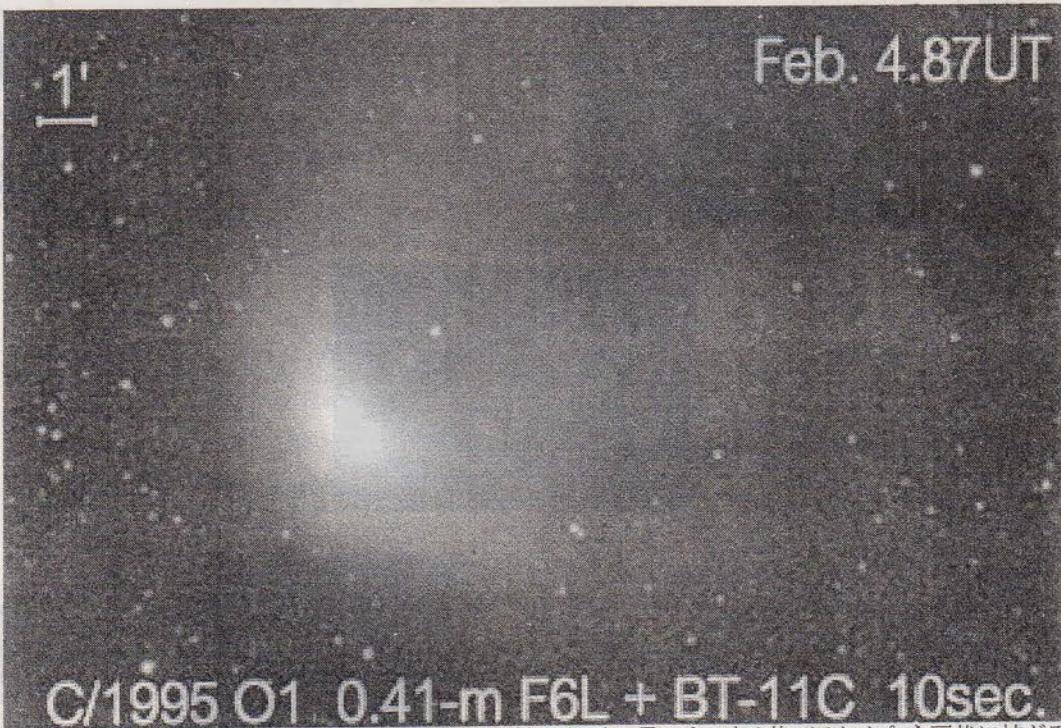
1997年は彗星史に残る年となりました。とうとう超巨大彗星ヘール・ボップ彗星がその真の姿を見せたのです。人類が望遠鏡やカメラという観測手段を持って以後初めて迎える巨大彗星となりました。肉眼からCCDカメラまであらゆるもので楽しめる星となりました。まだ見ていないあなた！話の種に今宵彗星を見ましょう。

★ C/1995 O1 (HALE-BOPP)

C/1995 O1  
Feb. 18, 1997  
50mm 15sec.  
HPC-1 Teleris



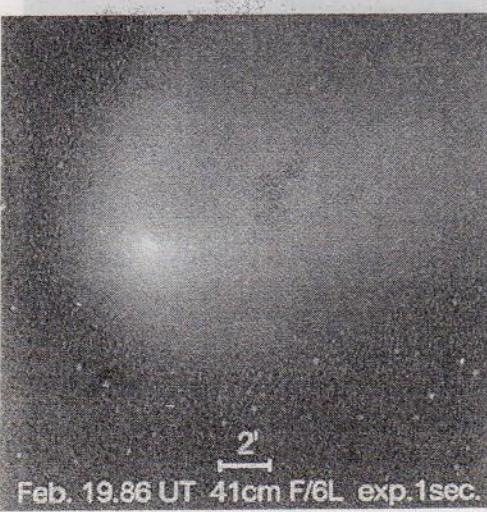
▲ヘール・ボップ彗星を50mm標準レンズでキャッチ

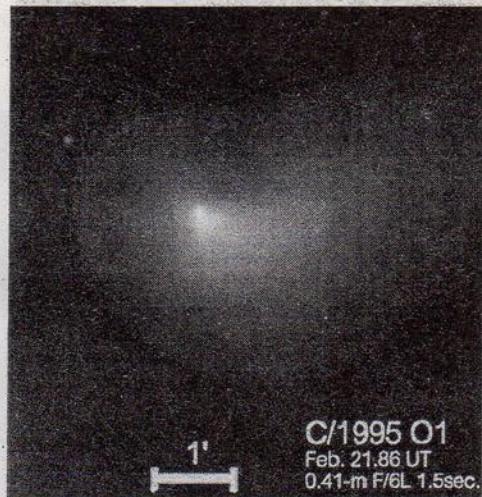


**C/1995 O1 0.41-m F6L + BT-11C 10sec.**

2月になってこの星は輝く核近傍と長い尾を見せ始めました。尾はまっすぐ伸びるタイプ1と扇状に拡がるタイプ2の2本がはっきりわかります。もっとも驚いたのは、輝く核近傍の中に同心円状の暗い輪が数本見え始めたことでした。この構造は、日を追ってだんだんはっきりてきて月末には螺旋状がわかるようになります。こんな姿をみせた彗星は記憶にありません。

2月は中旬だけ天候に恵まれましたが、相変わらず冬の熊本は観測にはつらい季節です。次ページ以降に2月に撮像した日の画像を一覧にしておきました。左が通常の画像で、右側が核近傍を拡大した画像です。日々の変化を確かめてくださいね。あまりに明るくなつて、CCDでは1秒露出が適正となりました。この調子で行くと3月にはNDフィルターがいるのではと本気で心配しているこのごろです。





★ C/1997 C1 (GEHRELS)



今年3番目の新彗星です。発見光度17.9等と報じられましたが、ご覧のとおり尾も写る立派なほうき星でした。

C/1997 D1は、第2次パロマー掃天作業中に見つかった星です。こちらは16等と明るい報告でしたが、初めての撮像は満月近いの明るい空で行わねばなりませんでした。それでも南東に尾のあるほうき星が写りました。



## 寒い寒いヘル・ボップ彗星観測会

中島 尚

話題のヘルボップ彗星、その観測会の記録です。

1回目・・・雨で延期!! 2月16日 早朝・・・中年二人が夜通し電話番の巻

1回目の観測会は、ホームページや新聞・ラジオ・テレビなどでの宣伝ががんがん流れ、期待は次第に高まっていたのですが、何と雨でした。しかし、問い合わせの電話は続々とかかり続け、一応私と艶島氏の二人が急遽泊まり込むことになりました。家族の冷たい視線を浴びながら、暖かい我が家を後にして、冷たく暗い天文台に向かいました。どうしようもなくて、しかたなく（本当にしかたなく）お酒を飲みながら夜を過ごしていったのですが、安眠は訪れませんでした。ちょっととうとうとしたかと思うと、すぐに電話の音がしてたたき起こされます。極めつけは、朝3時30分に、まだ雨が降っているのにも関わらず、家族連れの4人がやってきたことです。でも、泣きそうな顔の小学生を見ると、つい、「2階の望遠鏡だけでも見ていくうか？」といってしまう私でした。

2回目・・・晴天の中寒い観測会 2月22日 早朝・・・学生さんありがとう！

1回目があえなく中止となってしまったので、このままというのも悔しいということになり、第2回目を急遽計画しました。話し合いの結果（といっても何人にも話すことはできませんでしたが・・・）22日（土）の早朝に行うことになりました。しかし、ずばら私のこと、連絡を一日延ばしにしていたため、当日の夜には小林寿郎氏1人しか参加が確認できないことが判明しました。なんと、夜の9時近くです。それからみんなに電話を回し、何とか参加してくれるように頼み込み、やっと何人かの参加の見込みがつきましたが、とても足りそうにありません。そこで困ったときの学生さん。とうとう頼み込んで、OKがとれ安心して「酒屋」に走りました。これで、しかたなく、本当にしかたなく、また「酒」を飲まなければならなくなってしまったのです。

次第に夜も更け、予定の3時30分になるとすでに外には何組かのお客さんの姿がありました。そこで、2組に分かれて、一組は屋上の観測室で41cmを使って観望会。もう一組は外の古墳公園の芝の上に31cmドブソニアンを出しての観望ということにしました。私は、学生たちと一緒に外のドブソニアンにつくことにしました。某NECにお勤めのT田氏のホームページで滅多に使っていないと評された例のドブソニアノンです。

さて、三々五々と思い思いの格好の人々が集まってきたました。詳しくは、熊本日々新聞の記事を読んでいただくことにして、ともかく大成功でした。50名という数字は受付に記入した人の数ですから、実際は100人以上の参加だと思われます。なにせよ、素晴らしい眺めでした。これからが大変！！と思った一夜でした。

# ヘール・ボップすい星 県民天文台で観望会

「今世紀最大のすい星」

といわれるヘール・ボップ

すい星の観望会が二十二

日早朝、下益城郡城南町塙

原の県民天文台（鰐島敬昭

台長）であり、町内外か

ら訪れた人たちが冬の夜空

に姿を現したすい星を

肉眼や天体望遠鏡で追っ

た。

同天文台では平成七年七

月に同すい星が発見されて

以来、ボランティアスタッフが観測を続いている。同すい星は三月二十二日に地

球に最接近する予定。

次第に中

に明るさを増し、現在、夜

明け前の東の空に肉眼でと

らえることができる。

この日は、午前三時からスタッ

フが天文台に固定した反射望遠鏡

のほか、屋外にも

別の望遠鏡を設

置。厳しい冷え込

みの中、小学生か

らお年寄りまで五

十人以上が入れ代

わり立ち代わり望

遠鏡をのぞいてい

た。

屋外に据えられた反射望遠鏡  
で、今世紀最大といわれるすい  
星を追う人たち

上益城郡嘉島町  
からやってきた元



小学校教諭牛島安子さん（もこは「若いころから星を見るのが好き。すい星がみられるということで楽しみにして来た」と話しながら、地平線上に現れ、次第に中天に移動するすい星を楽しんでいた）

（モコは「若いころから星を見るのが好き。すい星がみられる」ということで楽しみにして来た」と話しながら、地平線上に現れ、次第に中天に移動するすい星を楽しんでいた）

# ヘリ・ボップ彗星

1997年2月11日 熊本県民天文台

今世紀最大、超巨大彗星といわれる「ヘル・ボップ彗星」が、いよいよ明るくなつて私たちの前に姿を現しました。熊本県民天文台では、この彗星を発見の翌日からずっと追跡・観測しています。みなさんも滅多に見ることのできない巨大彗星をぜひその目で見てください。

## ヘル・ボップ彗星の探し方

すい星は、2月から3月は図1のよう、夜明け前の東空に見え、それからゆっくり北上します。3月半ばになると再び高度を下げますが、それから図2のよう西の空に見えるようになって、見える時刻も夕方と変化します。

ヘル・ボップ彗星の動き方  
1996年12月25日現在ヘル・ボップ彗星の位置  
1996年12月25日のヘル・ボップ彗星



C/1995 O1 (HALE-BOPP)  
Dec. 15, 1996



1996年12月25日のヘル・ボップ彗星

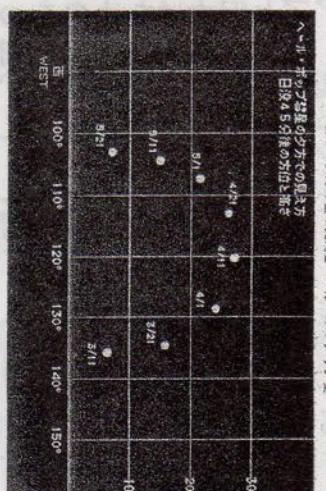


図1や図2をみるとわかるように、彗星は夜空を移動します。でも、一度見つけると次からは楽に見えるようになりますから、一度といわずに何度も見ましょう。きっと彗星の変化に気づくはずです。時には、バースト(爆発)を起こして急に明るくなったりしますからおもしろいですよ。

あしまいに、すい星や1等星が見えないような空のところでも、あきらめないでください。そんなに遠くないところ、町を離れてどこかの海が山の空の暗い所にでかけるだけ見ることができます。熊本には阿蘇山や天草など、近くにまだ星のよく見える自然が残っていますから。

また、最近増えている一般公開をする天文台へ出かけるのも良い方法です。宿泊施設のある天文台もあるので、問い合わせてみてください。それでは、みなさま、20世紀最大のホーキ星を見て宇宙の広さを感じ、良い思い出をつくってくださいね。

Porco Nisse (C) 1996/7

↓ 1997年2月4日、熊本県民天文台の41cm反射+CCDカメラで撮影

Feb. 4.87UT



表3 \*8PMのうち公認天体は150個  
地平鏡視天文台 0964-26-6060 40cmL  
地平鏡視天文台 0961-02-5300 50cmL  
地平鏡視天文台 0961-02-1113 40cmL  
地平鏡視天文台 0961-02-3300 50cmL  
地平鏡視天文台 0961-02-3300 50cmL  
地平鏡視天文台 0961-02-3300 50cmL

すい星は月のない空の万がよりよく見えます。明日の方の東空では、3月9日の新月前後が観望の好機となります。この日はモンゴルで皆既日食になりますので、日食とすい星が一緒に見えるという素晴らしい光景が予想されています。

図1と図2に示した期間、すい星は肉眼で見える光度をずっと保ちます。すい星が地球と最も近くなる3月下旬や太陽に最も近づく4月1日も天候さえ良ければ見ることができます。3月24日が満月ですので、この日以後夕空から月が無くなりますので、夕空での観望好機となります。

C/1995 O1 0.41-m F6L+BT-11C 10sec.

※複数は一部、KAOの公認天体を用いたります。なお、実際のCCD画像はこれまで撮影されたものと異なる場合があります。

連続天文小説

## 【シリウスよりも輝いて】

第14話 告白

山口和恵

「ふあああ……」

盛大なあくびが沢木の口からもれる。

「よお沢木！ チョコバは1コにしといてやるよ。えっ？ 2コおごるって？  
いやあ悪いなあ。」

あはは、という豪快な笑いと共に岩永が登場してきた。

朝早くの学生食堂は、4、5人がお菓子を食べたりしているだけで、ガランとしていた。爽やかな緑の光が窓からさしこみ、もうすぐ4月という季節に似合って、やんわりと温かい風が吹いていた。

「いつでもお前は元気だよなあ。」

テーブルにアゴをのっけてもたれかかっていた沢木は、だるそうに横目で岩永を見上げた。

あれっというように岩永は首をかしげ、沢木の正面の椅子に腰をおろす。

「うまいかなかったのかよ。」

岩永はズバリと聞いてきた。

「…………わかんねえよ。」

ハアアと沢木はため息をついた。ゆっくりと体を起こし、深々と椅子に座り直し、鮮やかな緑の木々を細めで見つめる。

「楽しくなかったのか？」

「いや、楽しかったさ。これ以上ないってくらいね。」

「どうも分からんな。」

「はは……自分でも良く分からんんだ。」

ちょっと苦い顔で、沢木は笑った。

昨日、沢木は白石めぐみと動物園に行ってきた。ちょっとずるい手ではあったが、デートと呼べるに等しいものだったと思う。

楽しい一時だった。

無邪気に駆け回るめぐみの後を荷物をもたされて追いかけたり、一緒に笑って、つまらない世間話に思わず盛り上がり上がったりした。

そして沢木は決心したのだ。思いの内を伝えようと。

沢木にとって、それは苦しい選択だった。伝えてしまえば、この時間を失ってしまいそうだった。めぐみはきっと、まだ悟を忘れてはいない。

夕暮れに染まる古びた観覧車。向かい合って座った2人は、赤く染まる遠くの街を見ていた。沢木はさりげなく話をきりだした。

「夕日が綺麗ですね。」

「本当。すっごく綺麗。久しぶりだわ、こんなに楽しかったのって。」

背伸びをしながら、ふふとめぐみは笑った。夕日を背にしためぐみの姿に、

沢木は一瞬息を飲んだ。ぎゅっと握りこぶしをつくり、めぐみをじっと見つめる。

「また・・また会ってもらえませんか。」

「ええ。また遊びにいきましょ。」

「そうじゃなくて・・」

沢木はめぐみからすーと目をそらし、もう一度夕日を見つめた。沈みかけの夕日はきらきらと輝いて、たくさんの星を手招きしている様に思えた。

「めぐみさん、おれは悟さんの様には成れないし、なにもしてあげられないかも知れない。でも。」

まためぐみの方を向き、慎重に言葉を選ぶ。

「あなたの特別な人でいたいんです。」

よく分からぬ汗が、頬をつたって流れ落ちる。のどはからからだったし、手は力が入りすぎて痛くさえなってきていた。めぐみは、まったく予想していなかた言葉に驚いたのか、びっくりしたように沢木を見る。10秒か20秒か、沈黙が続いた。沢木がたまらず口を開こうとしたとき、めぐみのほうが先に音を出した。

「わたし、沢木さんのこと大好きです。そう。最初にシリウスを見たときから。でも、考えないようにしてたんです。」

「やっぱり悟さんのことが、」

「違います！」

強い口調で、めぐみは沢木の言葉をさえぎった。

「確かに悟さんは大切な人でした。忘れられないのも本当です。でも、もう過去のことです。過去は現在ではないんです。」

「じゃあ、どうして。」

もっともな沢木の意見に、めぐみはうつむいた。

「おれはあなたの心のすき間には入れないんですか。」

ガタンと観覧車が揺れ、二人は動物園を後にした。何を喋ることもなく時間が過ぎ、車の中はラジオの音楽だけが流れていた。

「沢木さん。」

別れ際、めぐみが話しかけた。

「明日・・明日、天文台に来てもらえますか。自分の心を整理してきたいんです。」

「・・わかりました。じゃあ明日。」

沢木がそう言うと、めぐみは小さく手を振ってその場を後にした。沢木は、めぐみの姿が見えなくなるまで、見送っていた。いつのまにか辺りはすっかり暗くなり、無数の星がいつもと同じように輝いていた。

「ふうん。そんなことがあったのかあ。」

結局アイスをおごってもらっている岩永が、椅子をぎいぎいいわせながら言う。

「なんだ。おれどうすればいいのかなあ。」

とほほ、と沢木は泣き真似をする。

「まあ。」

最後の一囗を口に押し込みながら岩永は先を続ける。

「やけ酒にには付き合っちゃうからさ。」

にかく笑う友人の姿に、本当に泣きたくなってしまった沢木であった。

## B5 のたわごと

いきなり温っかですなー。何でも20日過ぎには桜も咲き始めるとか。春ですねー。春と言えば、花見。今年は天文台の横にある木、桜だったつけ? 屋は花見、夜は星見。んでもって明け方はHB彗星!! まあ、なんて充実した一日でしょう。(やってみたいようなしたくないような。。。) そうなんです。連日、天文台のメンバーは明け方にパシパシ写真を撮ったり CCDカメラで観測したりと、そりゃもう大忙し。HB彗星最接近が早いか、体が参ったするのが早いか、メシエマラソンが連日行われているようなこの毎日嬉しいやら恨めしい? やら。薄明が始まるころ、熱いコーヒーでも飲みながら双眼鏡で一息。やっぱり写真も良いけど、双眼鏡にて観望ってのもいいですね。

## ☆4月の天文現象&行事☆

1日(火) 下弦(04:38)

ヘル・ボップ彗星が近日点通過(12: )

6日(日) 水星が東方最大離角(10:07 光度0等)

7日(月) 新月(20:02)

11日(金) おうし座アルデバランの食(11:16)

12日(土) トークアバウト(20:00~)

15日(火) 上弦(02:00)

17日(木) 春の土用

22日(火) こと座κ流星群が極大(4/16~4/25)

23日(水) 満月(05:33)

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1997年4月号 通巻265号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ [http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO\\_TST.HTML](http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML)